

2022年度 行動計画

放課後等デイサービスわたぼうし

行動目標

目標 1 わたぼうしの取り組み内容や目的、成果を発信する。

目標 2 アセスメントに基づいた丁寧な支援を実施する。

目標 1 わたぼうしの取り組み内容や目標、成果を発信する。

- ・通信の構成を見直し、活動のねらいや成果が分かるように毎月発信していく。使用しているツールなどの写真や説明を掲載し、保護者に知っていただけるようにする。
- ・保護者対応の機会を活用し、各児童にとっての取り組みの必要性や、支援目標の達成状況を伝えていく。根拠を持って、正しく伝えられるよう、個々の情報収集やスタッフ間での共有、検討を随時実施していく。
- ・保護者から児童の困りごとに関する質問をいただいた場合は、現在の児童の状況や特性に基づいて適切な回答や対応の提案が出来るよう、OTの助言や実施している支援内容を踏まえて説明する。

目標2 アセスメントに基づいた丁寧な支援を行う

- ・定期的に作業療法士がアセスメントを取り、それに基づいた支援を実施する。
- ・個人に合ったアセスメントツールを活用し、評価する。

行動目標(支援の目標)

- ① スモールステップで丁寧に集団を作る
- ② 子どもたち自身の興味や関心に目を向け、活動に積極的に取り入れる
- ③ 個別課題の実施
- ④ 子どもたちの発達に合わせ小グループ単位での取り組みの実施

① スモールステップで丁寧に集団を作る

○低学年

- ・遊びの中で勝ち負けを経験し、折り合いが付けられるようにする
- ・物の貸し借りや順番を守るなど、友達と遊ぶ上での基礎的なルールを身に付けられるようにする。

○高学年

- ・集団遊びを通して、仲間と一緒に取り組むことへの経験を増やせるようにする。
- ・共通の目的意識を持って取り組めるよう取り組みの狙いを子どもたちに分かるように伝える。

② 子どもたち自身の興味や関心のある事に目を向け、活動に積極的に取り入れる

- ・子どもたちの希望を取り入れた遊具の準備
- ・遊具のバリエーションを増やす
- ・個々の得意な点を活動に活かす。

③ 個別課題の実施

- ・ 下校後、早く来所する児童に対して、個別課題を実施する。(主に火、水、木)
例えば、ビジョントレーニング、感覚統合調整、抑制のコントロール課題等。

- ・ 個々に合ったアセスメントツールを使い、課題を考案、実施する。

例) ・ 情報理解 ・ 基本スキルアセスメントシート ver.05

- ・ ソーシャルスキル尺度
- ・ v ineland等

④ 子どもたちの発達に合わせた小グループでの取り組みの実施

- ・ 個人の発達段階に合わせた内容やグループの設定
- ・ 取り組み時間が20分増えたことで、ゆっくり丁寧に取り組める。

一日のスケジュール(平日)

(旧)

14 : 00 開所
自由遊び・宿題

15 : 00 はじめの会
おやつ

15 : 40 取り組み(50分)
自由あそび

16 : 50 おわりの会
17 : 00 閉所

(新)

14 : 00 開所
個別課題
自由遊び・宿題

15 : 00 はじめの会
取り組み
自由あそび

16 : 50 おわりの会
17 : 00 閉所

各取り組みの目標



SST

○ねらい 友達と協力する経験を通して、社会性や集団生活に必要なスキルを身につける

- ・ スモールステップで、グループや集団での活動を経験していく。
- ・ ツールなどを活用し、適切な気持ちの表現方法を身につける
- ・ 自分の意見や考えを発信し、友達と共有する経験を積むことで、イベントの企画や実現につなげていく。



チャレンジ企画

○ねらい 自分たちの「やってみたい」を実現し、成功体験を積んで自信に繋げる。

- ・子どもたち自身がやりたいと思えることを発信できるよう、日頃のSSTでの経験を活用出来る話し合いの場やプログラムを設定する。
- ・必要に応じたヒントを提示しながら実施し、活動の実現につなげていく。
- ・異なる意見が出た場合でも、互いに折り合いをつけ、一つの事を友達と一緒に実現できるようにする。



工作

○ねらい 創作活動を通して、指先の巧緻性や想像力を高める

- ・制作した後、友達と一緒に遊べるよう、ゲーム性のあるおもちゃや、集団遊びで利用できる道具を制作する。
- ・一度の取り組みで終わらず、長期的に制作するものも取り入れ、達成感を得られるようにする。
- ・OTの助言を踏まえ、作業を通して必要な動作を取り入れる。



音楽遊び

○ねらい リズムや音楽に触れ、見る力や聞く力を養う

- ・ 見る力や手先の使い方が上達するように、楽器をはじめとした道具を取り入れたプログラムを実施する。
- ・ 少人数のグループで取り組み、個々の興味やスキル、発達段階に合わせた内容を設定する。



集団遊び

○ねらい 遊びの約束やルールを知り、友達と一緒に楽しむ経験を積む。

- ・室内だけでなく、外や庭で実施できるものも取り入れていく。
- ・遊びの中で色々な役割を担う経験し、自分たちで遊べるスキルを身につける。
- ・OTの助言を踏まえ、個々に必要な動作を取り入れる。



作業療法

○ねらい 感覚統合の観点から個々の身体的特性を評価し、必要な運動を取り入れたアプローチを行う。

- ・ 感覚統合を通して、覚醒のコントロールや身体の使い方の練習を行う。
- ・ 遊具や各種ツールなどを活用し、本人に合わせた活動内容を実施する。

今年度、新たな取り組みとして実施すること

○お庭開拓

工作や物づくりに興味がある事を活かして、木工による制作や砂場の設置等、庭を遊べる空間に開拓していきます。取り組みに応じた役割を各自が持って取り組めるよう、作業内容や工程を工夫していきます。

○実験クラブ

科学実験を通して、興味、関心の幅を広げ、友達と楽しみを共有できる機会にします。普段の遊びではなかなか出来ない活動を目指していきます。

